

R1.10 台風19号 二瀬ダムの洪水調節効果

- 三峰地点(気象庁)の日降水量549mm(10月12日)を記録(過去最大)。
- 今回の降雨による出水において過去最大となる約1,085万 m^3 の水量をダムで貯留した。
- ダム直下流の落合地点(秩父市大滝付近)では、約0.8mの河川水位を低減させたと想定される。

位置図



ダムの洪水調節により
落合地点で約0.8m河川水位を低下

ダムが無かった場合の
想定河川水位 6.21m

実績河川水位 5.44m

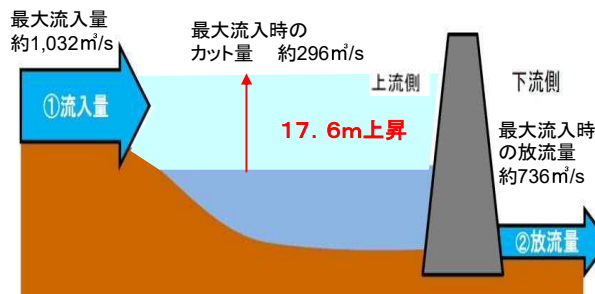
約0.8mの水位低減

- ・ダムがなかった場合の水位はダム地点の調節量をダム直下流の落合地点の水位低減量に換算しています。
- ・図は模式的に表現したものであり実際とは異なります。

最大流入時のカット量

- ①最大流入量 約1,032 m^3/s
- ②最大流入時の放流量 約736 m^3/s
- ③最大流入時のカット量 約296 m^3/s

※③貯留量=①流入量-②放流量



貯留前



貯留後



※本数値は、速報値であるため変更となる可能性があります。